

口永良部島の噴火警戒レベル3を切替 ～警戒が必要な範囲に古岳火口から概ね2kmの範囲を追加～

本日（10日）16時00分に口永良部島の噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替えました。

口永良部島（鹿児島県）では、古岳付近の浅いところを震源とする火山性地震が6月下旬頃から多い状態となっていました。昨日（9日）からさらに増加し、振幅もやや大きくなっており、新岳に加え、古岳においても噴火の可能性がります。

このため、本日（10日）16時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、警戒が必要な範囲に古岳火口から概ね2kmの範囲を追加しました。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

問合せ先：地震火山部 火山監視課 碓井
電話 03-3434-9119